



【住 所】秋田市広面字蓮沼44番地2

【病院長】溝井 和夫 先生

【病床数】610床

【内視鏡検査・治療総数】(平成20年度) 内視鏡検査総数:4,377件(上部:3,069件、下部:1,308件、ERCP:102件)、FNA:10件、EIS:37件、ESD:147件、ダブルバルーン小腸:21件、PEG造設:23件

【スタッフ】医師:18名、内視鏡看護師:4名、他スタッフ:2名

県内唯一の特定機能病院として 先進医療の提供と優れた人材育成に尽力

平成21年9月に 新しく『内視鏡・超音波センター』がオープン

秋田大学医学部附属病院は、病床数610床の県内唯一の特定機能病院です。地域住民に専門的な高度医療を提供するとともに、教育研究機関として周辺の施設と連携し、県内の拠点病院で高度医療の中核を担う優れた人材を輩出してきました。

医療の進歩や多様化する患者ニーズに対応するため、同院では「病院機能の強化」と「教育・研究環境の充実」を主な目標に掲げ、平成19年より施設の再開発整備を進めています。平成21年9月には、この再開発によって増設された新病棟内に内視鏡・超音波センターを開設しました。来院いただく患者様に良質なアメニティーを提供するため、同センター内には内視鏡が行える処置室が5ブース配置され、待合室や前処置室もゆったりとした広めのレイアウトになっています。

また、スタッフの導線となるエリアも十分なスペースが確保され、安全で効率の良い内視鏡診療が行えるよう配慮されています。



明るくやさしい雰囲気の前処置室



プライバシーを確保した検査ブース



スタッフ導線

地域の教育研究機関として優れた パフォーマンスを発揮する人材育成が責務

秋田県は高齢化率が全国平均を大きく上回っており、またがんによる死亡率は全国水準より高い数値で推移しています。そのため、より低侵襲ながん治療が求められており、高度な治療内視鏡のニーズが高い地域であると言えます。しかし、県内の中核病院の多くでは設備の老朽化が進み、また消化器内科の専門医も不足しているのが現状で、同院には近隣の地域だけでなく遠方から来院される高齢の患者様も多くいらっしゃるそうです。同センターで副センター長を務める神万里夫先生は、「高齢の患者様にとって、病気の体で遠方まで来院するのは身体的にかなりのストレスとなります。また、治療自体が成功していても、長い期間をおかずに他病死するケースが少なくないのも事実です。特定機能病院として高度先進医療を提供するのはもちろん当院の重要な役割ですが、患者様ご本人やご家族の意向や、術後にフォローアップをしていただくかかりつけ医の状況なども十分考慮し、患者様ごとに最適な治療方法を検討することを第一に心がけています」とお話をいただきました。

同院が本来もつ機能を発揮するためにも、各医療機関の機能分担は早急の課題となっています。「地域の施設が連携を深め、限られたリソースを十分に活用することで医師や設備の不足は補えると考えます。医療機関ごとの役割を明確にし、それぞれの立場に応じたパフォーマンスを発揮できる優れた人材を育成することも、我々が教育機関として求められている大きな責務だと考えています」と、現在の課題と今後の展望について、神先生からさらにご説明いただきました。

● 専任の看護師を検査ブースごとに配置し医師と患者のニーズに的確に応える

内視鏡・超音波センターでは、新設以来4名の専任看護師を配置して日々の診療にあたっています。従来は消化器病棟の看護師が内視鏡業務を兼務していましたが、現在では1人の看護師が1つの内視鏡ブースで1日通して業務を行う担当制となっています。看護師の渡部歩さんに、看護師の立場から同センターの特色についてお伺いしたところ、「内視鏡業務が専任制となってまだ日が浅いため、経験・知識とも習得中の段階ですが、内視鏡技師の資格取得を目標にして日々の業務にあたっています。病棟を担当していた頃から一緒に業務を行っていた先生が多いので、コミュニケーションも取りやすく、分からないことや疑問に思ったことはその場で相談して解決するようにしています。検査ブースごとの担当制にしているので、検査や処置の一連の流れが順を追って把握できるため、先生方の要求することも理解しやすい環境だと思います。また、患者様に対しては検査や処置の前後で同じ看護師が説明にあたり、患者様やご家族が安心して診療にのぞんでいただける環境づくりにも心がけています」とのコメントをいただきました。渡部さんのお話から、医師とスタッフの良好な人間関係が、安楽で安全な検査や処置の実現に繋がっていることが伺えました。



第一内科講師
内視鏡・超音波センター 副センター長
神 万里夫 先生



内視鏡・超音波センター 看護師
渡部 歩 さん



内視鏡・超音波センターの皆さん